

滋賀ロケーションオフィス ニュース



第2号 平成15年(2003年)1月29日発行

発行：滋賀ロケーションオフィス
(社団法人滋賀県観光連盟内)
〒520-0044
滋賀県大津市京町四丁目1番1号
滋賀県商工労働会館 3階
TEL：077-511-5775
FAX：077-523-7555
E-mail：info@shiga-location.jp
URL：http://www.shiga-location.jp

びわ湖映画フェスタ開催される

パネリストとして参加して

滋賀ロケーションオフィス設立記念「びわ湖映画フェスタ」が昨年11月16日(土)に県立男女共同参画センター(近江八幡市)で開催されました。映画監督の山田洋次さんを迎え、「映像制作と地域振興」をテーマにパネルディスカッションが行われ、その後長浜市が舞台となった映画『男はつらいよ 拝啓 車寅治郎様』が上映されました。

「男はつらいよ」シリーズなどで有名な監督山田洋次さんを迎えて、「びわ湖映画フェスタ」を開催できたことは大変うれしいことでした。その時のパネルディスカッションでの山田さんの発言で特に感じたことを書いてみました。

まず、撮影にあたっては制作スタッフ全体で徹底したロケハンをされるそうです。同じ場面を撮るにしても“より心を揺さぶられる画”になるところで“撮る”。そしてその選んだ場所でも、時間の移りや天気の変りにも気を配って撮る…そのこだわりが“みもらえる画”につながっていくということです。そこには、みごもった親が、わが子の胎動を感じつつ、思わずおなかを撫でているような「作品」への強い愛情を持って、映画を撮っておられるのだとしみじみ感じました。

次に、撮影のため地方へ出かけた時には、地元の人々に対し、お願いすべきことは遠慮せずをお願いして“いきいきとした画”を撮ることを心がけている。そして、その画がスクリーンに映し出された時、“協力して良かったなあ……”と地元の人たちに喜んでもらえる画に仕上がるよう、常に地域の協力を報いる気持ちをもって仕事をされているとのことでした。



また、最近“古い”ものが壊されたり、改良されて“昔の良さ”をなくしていくケースが多く、残念であると話されました。一方、湖国、特に北の方にはまだ“良さ”がたくさん残っているので是非大事にしてほしい。今後、そういうものや風景を残す努力をする事が地域に求められるし、映像制作にあたる者もそうした動きに協力していくことが、ひいては我が国の映像文化を育てていくことになるかと話されました。

こう書いている私も、滋賀ロケーションオフィスのスタッフの一人ですので、今回の映画フェスタでのパネリストの方々の話なども十分勉強し、映像制作者の熱い思いを大切にしながらロケ支援を行っていきたくと考えています。

昨年4月のオフィス設立以来、はや10ヶ月が過ぎようとしていますが、県や市町など多くの方々のご支援とご協力をいただき、設立初年度としては、予想を上回る成果を上げていただいています。

今後とも、湖国滋賀の情報発信に努め、地域振興のお役に立ちたいと考えています。(勝島 實)

海外からだってきます



昨秋、滋賀ロケーションオフィスが提案していた企画を撮影するため、お隣は韓国からKBS(韓国放送公社)のテレビ番組『世界は広い』の撮影取材班がやってきました。日本で言えばNHKに相当するKBSのこの番組は、世界各地の人々の生活や文化を紹介するもので、韓国人なら誰でも知っている有名な番組です。

今回は、「琵琶湖を取り巻く自然と人の暮らし」をテーマに、11月15日～17日の3日間にわたり、当オフィスの全面支援のもとに撮

影が行われました。近江八幡の水郷めぐり、浜大津港のびわ湖花噴水、遊覧船ミシガンなど水辺の娯楽スポットのほか、湖上で釣りの取材や琵琶湖博物館で見ることのできる多種多様な淡水魚など、番組中では琵琶湖を取り巻く滋賀県の多彩な魅力が紹介されます。

また、毎年この時期に安曇川町で開催される「琵琶湖横断気球レース」の取材では、朝日を浴びて次々と飛び立つ気球を追いかけ、漁船からの湖上撮影も敢行。

残念ながら、日本ではこの番組を見ることはできませんが、ひょっとするとTVを見た韓国からの観光客があなたの町にもやって来るかもしれません。(K・Y)



サポーター エキストラで盛り上がる

映画「ぬくもりの彩」に初出演

昨年の12月7日(土)・8日(日)、人権啓発映画「ぬくもりの彩」の撮影が守山市の県立成人病センターで行われました。滋賀ロケーションオフィスからの記念すべきエキストラ初出演となった今回の撮影。出演して下さったサポーターのみなさんの声を紹介いたします。

なお、今回の撮影では出演要請から撮影日までの時間が限られていたため、やむを得ずロケ地周辺にお住まいの方を対象に、メールやFAXなどで緊急募集させていただきました。

土曜日の成人病センターでのロケ楽しかったです。待ち時間が長かったのですが、セリフも言えてちょっとした女優気分を味わうことが出来ました。実際に映画撮影現場を見て、映画作りの大変さがありました。滋賀に住んでいながら、成人病センターに行ったこともなかったから、きれいな新築の病院に入ることも出来て、感動でした。

日常生活と離れて、貴重な体験が出来ました。演技も勉強して(笑)また参加したいです。 森井 千絵さん

先日は、エキストラに参加させていただきありがとうございました。

ロケ地が守山の成人病センター、しかも看護師の役があるということどにかく応募してみようと思いました。なぜなら、守山の成人病センターは、父との最後の思い出の場所だったからです。

私の中ではとっても思い出深い場所、成人病センターで看護師の役ができるなんて本当に信じられないことでした。役者さんたちと同じ控え室で待ち時間を過ごしたり、演劇の話をしたり、本当に楽しく1日を過ごすことができました。(中略) また父との思い出に浸ることができ本当にうれしく思います。また機会

があれば何かの役で出演させていただければ……とっております。(中略) まだ、出演されてない皆さん。是非出演してみてください。病みつきになること間違いなしです。 酒井恵美子さん

先日は珍しい経験をさせていただき、ありがとうございました。1日で10日分くらい過ごした感覚でした。(中略) 普段出会う事のない人達に出会えた事が魅力でした。

また、おもしろそうな事があれば連絡ください。 比良岡洋美さん

私は映画が好きで、ほぼ毎週滋賀会館シネマホールに通っている。

そんな映画好きの私が、ついに映画に初出演しました！といってもエキストラ。わかる人にしかわからない。

でも、今回エキストラとして映画に出演する以上に、私が楽しみにしていたのは、映画制作の現場を見られることだった。なので自分が出演しない場面でもいろいろと楽しめました。映画がいかに多くの人の手によって作られているのか、ということが改めてわかりました。控え室で何度も何度も練習している役者さん。自分の頭の中にあるイメージをみんなに伝える監督。そして、カメラ、照明、音

声、小道具、衣装などなど、それぞれの担当の方が、それぞれのこだわりを持ち、みんなで良い映画を作ろうと心をひとつにしている。私がいつもみているスクリーンの裏側には、もうひとつのドラマがありました。 今井 達也さん

昨年の成人病センターのロケではお世話になりました。

撮影現場に立ち会うのは、初めての経験で「どないなるのやろ。」と、不安とワクワクする気持ちでございました。

30秒ぐらいの細切れシーンを繋ぎ合わせて、映画が出来上がる事も体感し、後の編集が「大変だな。」と、思いました。

しかし、昔はすぐにも確認出来ず、生フィルムでの撮影を思うと現場の皆様方は、つくづく楽になったと思っておられるのだらうと思っております。

私も過去に、いろんなイベント(木之本、安土、草津、栗東、高月での武者行列等)に出させて頂いた事があり、祭りは「待つ」のがまつり、スタートしたら「終わり」と言う事も解っており、映画作りもよく似ていると思いましたが、「何時に、どのようになるのか」が解らないまま、待つ事のつらさが身にしみ、俊丸も「まだまだ修行が足りない。」ことが、解りました。 安野 俊丸さん

編集 後記

第2号はいかがでしたか？
昨年12月、サポーターにエキストラとして初めてご協力いただきました。長時間だったにもかかわらず、和気あいあいと撮影を盛り上げていただきました。
今後の紙面充実のためにもご意見、ご感想がありましたらどうぞお寄せください。
お待ちしております。(H・K)

私たちは、滋賀の素晴らしい風景や文化などを全国に紹介するため、滋賀ロケーションオフィスの活動を応援しています。

滋賀県信用保証協会

滋賀県中小企業団体中央会

滋賀県興行協会

滋賀県バス協会

アインズ株式会社

株式会社滋賀銀行

株式会社びわこ銀行

NTTオートリース株式会社

宮川印刷株式会社

株式会社ヒサダ昭栄堂

(順不同)